

## 年 度 評 価 シ ー ト

課名 観光政策課

施設の名称 清水港船宿記念館	指定管理者名 公益財団法人するが企画観光局
1 履行状況	
(1) 目標達成	
ア 利用者満足度 目標値 80.0%、実績値 88.8% (前年度 92.4%) 達成率 111% (前年度比 96.1%) 【参考】令和元年度 (コロナ前) 実績値 92.9%、達成率 116.1%	
イ 利用者数 目標値 10,000 人、実績値 7,739 人 (前年度 7,350 人) 達成率 77.4% (前年度比 105.3%) 【参考】令和元年度 (コロナ前) 実績値 15,498 人、達成率 119.2%	
(2) 人員配置状況 パート 6 人	
(3) 業務実施状況 静岡市清水港船宿記念館条例第 3 条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。	
ア 主催事業	
(ア) 清水の新茶を楽しむ (4/25~5/21、参加者11人)	
(イ) 次郎長命日限定イベント (6/11、参加者17人)	
(ウ) 末廣縁日 (8/5、参加者283人)	
(エ) プラモデル体験 (9/9参加者16人、9/16参加者12人)	
(オ) 干支の置物作り (9/14、参加者 6 人)	
(カ) 次郎長映画を楽しむ (1 回目10/7参加者 6 人、2 回目3/16参加者17名)	
(キ) 次郎長巷談 (10/14、参加者17人)	
(ク) SPAC朗読劇『中村岩五郎』公演 (1/7、参加者14人)	
イ 展示事業	
(ア) つるし飾り展 (通年) 清水次郎長と28人衆、市内の祭り、清水エスパルス等をテーマにした飾り	
(イ) 鯉・端午の節句飾りとつるし飾り展示 (4/15~6/7)	
(ウ) 七夕笹飾り展示 (7/4~7/9)	
(エ) 雛飾りとつるし飾り展示 (2/23~3/31)	
(オ) 柳原良平氏原画展示 (4/1~3/31)	

### 【検証・分析】

#### (1) 施設入館者数

新型コロナウイルス感染症流行前の入館者数に比べ、未だ回復には至っていない現状にあるが、要因として、下半期に行った改修工事により一部のみの開館をした影響が大きいと考えられる。特に、内部改修工事中（12月～2月）については、清水港周辺地区の地域振興及び観光交流の場として、観光・物産の情報提供をするためのまち歩き観光の拠点としての機能を残すため、外観の見学及び周辺施設等のパンフレット配架のみに留めたまま開館を続けたものの、内部を見学できないことを理由に、団体旅行客を中心に観光コースから回避される傾向が続いたことが、入館者数減少に大きく影響している。しかしながら、リニューアルオープン後は順調に入館者数の復調が見られ、近隣からの再訪客も増加したことから、施設リニューアルによる効果とともに、客船寄港時のインバウンド客の取込みも積極的に行い、今後更なる入館者増を期待したい。

#### (2) 事業実施状況

展示及び各種関連事業については、一部のイベントを除き事業計画書に従って適正に実施されている。当初開催を予定していた英語でハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、和紅茶を楽しむ体験教室等の事業については、講師との調整がつかず、また改修工事に伴う一部開館制限により開催するスペースも制限されたため、中止を余儀なくされたが、他方、前年度に引き続き静岡県舞台芸術センター（SPAC）による朗読劇や、プラモデル制作体験イベントの開催、当初年間事業計画になかった次郎長映画を楽しむ会の開催（2回）など、創意工夫し誘客を図る様子が見られた。また、スタッフによるSNSの継続的な情報発信、インバウンド客に向けた館内の多言語表示や英語による説明にも積極的に取り組み、情緒ある館内と、日本の伝統的な建物を魅力的に伝える試みがなされていた。特にインバウンド客については、次郎長の「なりきりセット」を装い、人形と共に写真を撮ることや、座敷での抹茶を嗜むことに加え、日本ならではの伝統的な建築と文化について感じることの施設として大変好評であった。

### 【確認結果】

○：業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

## 2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

### 【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

(1) 意見：近くに住んでいながら施設があることを知らなかった。

対応：末廣かわら版通信を下半期は毎月発行した。

(2) 意見：駐車場の場所がわかりにくい。

対応：カラーコーンを目立つように配置した。

(3) その他

- ・次郎長の生涯がよくわかりました。
- ・展示やスタッフの対応が良かった。

・建物、つるし飾りが素晴らしい。

**【検証・分析等】**

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、良好な対応がなされているといえる。

**【確認結果】**

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。

**【調査結果】**

回答総数：564件、「とてもよかった」「よかった」と回答した件数：501件

①「建築・設備」満足度：87.8%（前年度93.5%）

②「案内」満足度：93.6%（前年度89.6%）

③「展示内容」満足度：85.1%（前年度94.3%）

**【検証・分析等】**

3項目の平均値で算出した満足度は88.8%（前年度92.4%）であり、目標値である満足度80.0%を大きく超えたことは高く評価できる。すべての項目が高い水準であり、良好な評価を得ている

**【確認結果】**

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

当施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設4施設（東海道広重美術館、由比本陣施設、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。

**【調査結果】**

回答者総数：2,934件、当該施設を知っていると回答した人数：583人

認知度：19.9%（前年度18.2%）

引き続き認知度向上が大きな課題である。近隣地域における認知度向上、次郎長の功績の発信、日本家屋の建築物としての魅力発信、校外学習の場として活用など、PRの強化だけでなく、その方法の工夫にも期待したい。

**【確認結果】**

△：調査の結果にやや問題があった。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおり執行されている。

**【検証・分析等】**

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおり執行されており良好である。

**【確認結果】**

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

本施設は「清水港周辺地区の地域振興及び観光交流の場」であるとともに、「清水の次郎長所縁の施設として地域の歴史文化を発信する場」と位置付けられており、日の出地区における観光や歴史の重要な発信拠点である。

今後、国内・インバウンド客のさらなる集客に向けた取組を工夫する必要がある。特に、来館者アンケートからみえるリピーターの割合の少なさは課題の一つとして認識する必要がある、市内近隣からの再訪客の取り込みも大きな課題となる（令和5年度来館者アンケートによると、回答者の84.6%が初回来場者）。

また、若い世代に歴史的に価値のある地域資源を再認識する機会として学校の校外学習利用に繋がる営業活動を進める他、地域での認知度向上への取組も必要であろう。

次郎長生家や梅蔭禅寺といった次郎長関連施設との連携はもちろんのこと、指定管理者自身が地域ブランドの価値向上をはじめとする観光振興を担う団体であることを鑑み、観光や歴史の発信拠点として、本施設の機能を高めるための取組をより一層推進することを期待する。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。